秋夕
（チュソク）
ー韓国のお盆ー

九州大学大学院
人間環境学府
博士後期課程２年生
琴允姫
（クム・ユンヒ）

秋夕：韓国の秋を代表する名節

1. 旧暦８月15日の「秋夕(チュソク)」は、韓国における秋のビッグイベント。
2. 韓国人にとってはソルラル（旧正月）と並ぶ代表的な名節で、「ハンガウィ」とも呼ばれます。
3. 毎年秋夕当日とその前後１日ずつが祝日となり、親戚一同が故郷に集まって先祖の墓参りをしたり、秋の収穫に感謝したりします。
4. こうした秋夕の慣わしは、古く新羅時代(紀元356年～935年)に始まったと見られています。１年で月が最も明るく輝く旧暦８月15日には昔から盛大なお祭りが行なわれていましたが、徐々に名節としての風習が形成され、今に伝わるようになりました。

秋夕前の様子
＜１カ月前—墓の草抜き・清掃＞

- 墓参りは秋夕当日に行なわれる風習のひとつ。
- 土をこんもりと盛った墓が一般的な韓国では、当日に備えて夏の間に伸びた草を刈り、墓の周囲を清掃しておく習慣があります。

秋夕前の様子 ＜２～３週間前―親戚や取引先への贈り物を購入＞

- 秋夕が近づいてくるとデパートや大型マートには特設売場が登場し、贈り物商戦が繰り広げられます。
- 売れ筋は海苔、食用油、果物などの食品類や、シャンプー、洗剤、歯磨き粉といった生活関連の実用品。

秋夕前の様子 ＜２～３週間前―親戚や取引先への贈り物を購入＞

＜店員は伝統衣装の韓服姿で売込み＞

秋夕前の様子
＜連休直前—帰省ラッシュ＞

＜長蛇の列をなす
ソウル駅の改札＞

- いよいよ秋夕連休直前。ソウルから地方への玄関口である国鉄ソウル駅やカンナムの高速バスターミナルは故郷に帰る人々でごった返します。
- 地方に向かう下りの高速道路も大渋滞。「民族大移動」とも呼ばれる帰省ラッシュがピークを迎えます。

秋夕前の様子
＜連休直前―帰省ラッシュ＞

＜バスターミナルも早朝から大混雑＞

秋夕前の様子
＜連休直前—帰省ラッシュ＞

＜出発を待ち構える地方行き高速バス＞

秋夕前の様子
＜連休直前―帰省ラッシュ＞

＜人が大勢集まる駅前ではイベントも＞

秋夕前の様子

- 一方、庶民の台所である市場も大盛況。
- 親戚一同が集うため連休中の食べ物をたんまり買って備えます。
- 先祖供養の祭祀「茶礼(チャレ)」で使用する食材の調達も欠かせません。

秋夕前の様子

- 茶礼床(チャレサン)と言う祭祀のお膳には栗やなつめ、野菜のナムルに肉、魚と、たくさんのお供え物がのるため、家庭の女性陣は買出し後も休む暇なく働き続けます。

秋夕連休中の過ごし方

<がらんと静まりかえる
都心部の道路>

- 当日とその前後合わせて３日間が連休となる韓国の秋夕。
- 人々の多くは帰省したり、我が家で家族たちと過ごすため、都心の繁華街は人通りが少なく休業する店舗も目立ちます。

秋夕連休中の過ごし方

- しかし最近は、若者を中心に帰省しない人が増え、連休中も営業するお店が年ごとに増えているのが現状。

＜観光スポットでは秋夕の催し物も＞

秋夕連休中の過ごし方
＜ソンピョン（松餅）作り＞

- 秋夕の前日には、ソンピョン(松餅)を作る家庭もあります。
- ソンピョンはうるち米の粉を水で練ったものに、小豆や栗、すりゴマと砂糖を混ぜたものなどを包み、松葉を敷いた蒸し器で作る秋夕の代表的な食べ物です。

秋夕連休中の過ごし方
＜ソンピョン（松餅）作り＞

秋夕連休中の過ごし方
＜ソンピョン（松餅）作り＞

＜最近は手軽なパック入りを購入する人も多い＞

秋夕連休中の過ごし方
＜茶礼（チャレ）＞

＜先祖に供える茶礼床＞

- ９月下旬～10月初旬の秋夕の時期になると、田畑には五穀が実り鮮やかな黄金色となります。
- そんな季節柄、秋夕には収穫したての新米、お酒、果物などを先祖に供える習慣があります。

秋夕連休中の過ごし方
＜茶礼（チャレ）＞

＜正装姿でお膳に向かってお辞儀＞

- 秋夕当日の朝に家族親戚が集まって行なわれるのが、茶礼(チャレ)という儀式。
- お供え物を並べた茶礼床を前に、秋夕にあわせて新しくあつらえた服を着て深くお辞儀をします。

秋夕連休中の過ごし方
＜墓参り（ソンミョ）＞

- 茶礼を終え、朝ご飯を食べたら、一家揃って墓参りに行きます。

秋夕連休中の過ごし方
＜墓参り（ソンミョ）＞

- 墓地では、先祖の墓を囲むようにして親戚一同が並び、お辞儀をする姿も見かけられます。

秋夕：家族をつなぐ伝統的な名節

- 韓国は現代に入り家族同士の会話がだんだんと少なくなって来ています。
- それでも秋夕になると、どんなに離れていても家族親戚がひとつの場所に集まってきます。

秋夕：家族をつなぐ伝統的な名節

- 家族が仲睦まじく暮らし、先祖に礼を尽くすことを大切とする基本姿勢は、今も昔も変わらずに韓国の人々の心に根付いています。
- 秋夕は人と人との繋がりをかたく維持させてくれる伝統的な名節として今後も受け継がれていくと思われます。

ご清聴ありがとう
ございました。